令和元年度進行管理・評価シート

佐川町歴史的風致維持向上計画(第2期)(平成31年3月26日認定)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画	協議会の開催 ・・・・	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(1 施策との連携による今後の措置	様式1-2)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関 1「文教のまち」推進事業(協議会活動助成事業)	引する事項(様式1-3)	3
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-	-	
1 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等		4
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発につい	τ	5
3 文化財の防災について		6
4 埋蔵文化財の取り扱いについて		7
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 鮮やか草木染に歓声 佐川町体験博スタート		8
2 夜の白壁に光る 光の絵		9
3 佐川高校生が酒蔵カフェ		9
4 佐川の夜 ろうそくで彩る		10
5 春の妖精 牧野公園に		10
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史まちづくりによる観光客の増加		11
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		12

進捗評価シート (様式1-1)

計画に記載 佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制(事務局と審議組織との している内容 連携)を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内会議を年間5回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を1回開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和元年度については、事業の進行状況に応じて庁内会議を実施したため、会議の回数は前年度より少なくなってしまった。令和元年度第一回佐川町歴史的風致維持向上計画協議会で、今後の協議会については半期に1回開催することが決定したため、計画的に庁内会議を実施していく。
	状況を示す写真や資料等



庁内会議

令和元年7月2日 令和元年7月18日 令和元年8月21日 令和元年10月23日 令和元年11月19日

庁内会議の模様

佐川町歴史的風致維持向上計画協議会

第1回(令和2年3月26日)

◇協議事項

- | (1)佐川町歴史的風致維持向上計画(第2期)の実施スケジュール(案)について
- (2)歴史的風致形成建造物の再指定について(佐川文庫庫舎、旧浜口家住宅、旧竹村呉服店)
- ◇その他
- (1)JR客車収容施設について
- (2)(仮称)佐川町新文化拠点施設について

進捗評価シート (様式1-2) 評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 □実施済 施策との連携による今後の措置 ■実施中 口未着手 計画に記載 している内容 独自町条例との連携、酒蔵群の保存・活用 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成29年度予算に「景観計画」策定費用を計上していたが、庁内会議において佐川町の街なみ及び重点区域の規模を考 えると、景観を損ねるような建造物が建つ可能性は低いと判断し景観計画の策定を見送っている。 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 進捗状況 ※計画年次との対応 施行中の佐川町街なみ景観条例は、平成5年度から10年間実施した街なみ環境整備 口計画どおり進捗している 事業に対応して策定したものであり、歴史的風致維持向上計画に合致した内容となって ■計画どおり進捗していない いない問題点がある。景観計画の策定検討と併せて改正を検討していく。 状況を示す写真や資料等

進捗評価シート (様式1-3)

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度令和元年度項目現在の状況

「文教のまち」推進事業(協議会活動助成事業)

□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 令和2年2月7日~令和2年3月30日

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

住民主体によるソフト事業を実施し、重点区域を核とした歴史的風致を維持向上する活動をさらに他地域にまで広げると 共に、町外にも広く発信する。また、歴史的建造物の保存・活用に向けての住民意識啓発の活動も併せて取り組むこと で、竹村家住宅周辺の良好な市街地環境の形成に寄与し、佐川町の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度改訂した「竹村家住宅」のリーフレットを増刷した。増刷のタイミングが年度末だったために配布するまでは至らなかったが、今後の啓発活動に使用する。印刷冊数:17,000部

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない 本町の歴史まちづくりは計画策定から10年が経過したが、対外的には認知度が高いとは言えないため、これまでの活動を継続していくことが必要である。また、協議会員の意識を高めていく取り組みも必要だと考える。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート (様式1-4)

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項		
評	価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
文化財の保存・活用について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載 している内容

現在、文化財の保存活用に携わる団体は積極的かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携 も十分とれている。

今後も、こうした活動の前進を更に目指し、行政との連携も一層強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度まで実施している名教館での偉人パネル展示や高知大学出前講座等の開催は継続して行われている。令和元 年度はそれらに加えて、体験型観光イベント「わんさかわっしょい体験博」に上町地区の文化財や資源を活用したプログラ ムが実施され、観光客の増加や文化財の活用につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	NPO法人、観光協会は定期的にイベントを開催しており、集客数は増加傾向である。地元唯一の公立高校である佐川高校の地域学習も定着してきており、今後も観光ボランティア、観光協会と連携し、活発な情報配信と文化財の活用を図る。
	状況を示す写真や資料等



佐川高校地域学習でボランティアガイドから佐川の町なみ の説明を受ける佐川高校1年生33名



高知大学出前公開講座 名教館 R1.11.6、11.7、11.20 全3回 延べ 42人



上町で開催される酒蔵ロード劇場の会場として影絵を 投写した佐川文庫庫舎 R1.11.16



体験型観光イベント「わんさかわっしょい体験博」のプログラ ムの一つで、佐川高校生が上町地区のガイドを実施した。 R1.10.26, 10.27

進捗評価シー (様式1-4)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項		
評価	西対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載 文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社 している内容 会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

黒岩小学校で卒業生(高校生)も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形民俗文化財である「佐川の太刀踊り」の継 承に取り組んだ。他にも斗賀野小学校児童による花取踊り(町指定無形民俗文化財)や黒岩中学校で瑞応の盆踊り(県指定無形民俗 文化財)に児童・生徒が取り組み、地域の行事などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 口計画どおり進捗していない

児童生徒が積極的に参加し、継承に取り組んでいるが、発表の場は地域内の行事に限 られている。今後は、町内外のイベント等への参加及び披露する機会を増やすことを検 討していく。

状況を示す写真や資料等



←「四ッ白太刀踊り」県指定無形民俗文化財

黒岩地区の小中高生が積極的に参加し継承に取り組んで いる。

11月3日の仁井田神社の秋の大祭で神事のあと太刀踊り を奉納している。

小中学校の運動会や地域で開催されている城山まつりや 黒岩地区で開催されている黒岩短縮マラソン大会でも披露し ている。



←「白倉神社花取踊り」町指定無形文化財

斗賀野地区の小中学生が積極的に参加し継承に取 り組んでいる。

11月12日の白倉神社の秋の大祭では保育園児が 神輿を担いでおなばれを執り行い白倉神社で花取りを 奉納後、見物人に餅投げを行うなど地域の祭りとして 定着している。



←「瑞応の盆踊り」県指定無形文化財

黒岩瑞応地区が中心となり、瑞応盆踊りを継承し ていくため、中学生の指導にあたっている。

8月16日は、夏休みで夜間のため、中学生は個人 参加としている。

また、近隣の市町村との文化交流も行っている。

進捗評価シート (様式1-4)

評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項	
評価対象	年度 令和元年度
項目	現在の状況
文化財の防火について	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容

現在も実施している所有者、地域住民、消防署、地区消防団が一体となった防火訓練を質・量ともにさらに充実したものとしていく。加えて、「文化財防火デー」には、上記住民・団体及び文化財保護審議会委員等が各地区の文化財においての消火訓練を実施しており、今後も継続していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には自主防災組織が設立されており、地域の防災についての意識も高い。文化財防火デーには、上町地区で文化財を対象に消防署、消防団とともに初期消火訓練を実施し防火意識の向上を図った。

また、文化財巡視パトロールなど、あらゆる機会を通じて、引き続き文化財の保存や防災の大切さについて関係者などに 周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない 南海地震の発生が予測されていることもあって、地域住民の防災について一定理解が高まっているが、今後も、引き続き、各地区を回り、防災意識の啓発及び文化財に対する理解を深めてもらう活動を続けていく必要があると思われる。

状況を示す写真や資料等



1月24日 文化財防火デーの防火訓練には地域住民、地元消防団、消防署、文化財保護審議会委員が参加し、消防署員の指導の元、消防署への模擬通報、地元消防団による放水訓練、地域住民による消火器での初期消火訓練等を実施後、消防署から講評を受けた。

また、実地訓練終了後には、文化財保 護審議会会長より、文化財保護の重要 性について説明を行い、参加者は熱心 に耳を傾けた。



文化財防火デー 佐川町文庫庫舎 において火災発生を想定し、通報訓練等及び初期消火訓練を実施した。 今年度は近隣の花園保育園児も訓練を見学した。 進捗評価シート (様式1-4)

評価軸4-4

文化財の保存又は活用に関する事項		
	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いについて		□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載 機会あるごとに埋蔵文化財の持つ意義や重要性及び所在地を町広報やその他の方法により広く住民に周知 している内容 する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内の主要な埋蔵文化財については、年1回、2日にわたり巡視パトロールを行い保存状態を確認している。また重点区域内の佐川城跡については、令和元年11月14日に文化財保護審議会委員(巡視員)とともにパトロールを実施し、昨年度の写真の比較や、目視により保存状態に変化はないことを確認している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない 現在のところ埋蔵文化財について広く住民に周知するには至っていない。しかしながら高知大学の出前講座で本町の埋蔵文化財を取り上げていただいたり、また住民有志による佐川城跡の整備活動(案内板の設置や草刈り)といった、個々での活動が行われている。計画では令和5年度より佐川城跡の整備について協議を開始することになっているが、実施に至るまで上記のような取り組みを支援していきたい。

状況を示す写真や資料等



佐川城跡

石積み部分には今のところ異常はみられないが、周辺の雑木による悪影響が発生しないよう伐採を順次、予定している。



佐川城跡縄張図

(平成29年度、佐川町教育委員 会刊行「佐川町の文化財」より 転載)

効果・影響等に関する報道		
	評·	価対象年度 令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
鮮やか草木染に歓声 佐川町体験博スタート	R1年10月6日	高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光関連イベントの記事が多いが、その中でも今年度は地元高校である佐川高校生が文化財を活用した取り組みの記事 が2回掲載された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	毎年掲載されている記事もあるため、その記事に加えて新しい取り組みを報道してもら い知名度アップにしなげていく必要がある。	
■計画の定物に影音なし	い、知句及グラグにしなけてい、必安がめる。	
状況を示す写真や資料等		



令和元年10月6日 高知新聞

進捗評価シート評価軸⑤-2 (様式1-5)

別未・影音寺に関する報道		
		<u> </u>
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
夜の白壁彩る光の絵 佐川町「酒蔵ロード劇場」	R1年11月26日	高知新聞
佐川高生が酒蔵カフェ	R2年1月20日	高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

情緒あふれる白壁を彩る影絵を来場者が 楽しんだ「酒蔵ロード劇場」(佐川町甲)



令和元年11月26日 高知新聞

令和2年1月20日 高知新聞

夜の白壁彩る光の絵

ぶ小道を色鮮やかな光の絵 ランプなどの作品を展示し ストや団体10組が、 っとりと眺めていた。 が彩り、大勢の来場者がう われた。歴史的な建物が並 れた展示会場ではさまざま 街角のあちこちに設けら

どに影絵を投影する一さか わ・酒蔵ロード劇場」が行 でこのほど、酒蔵の白壁な 実行委員会の主催で12回 16日は県内のアーティ ユニット 「フェアリーピッ に、何重もの人垣ができた。 ロディーが響くような空間 タ」が演奏。絵の中からメ

の中で動物たちが楽器を奏 な趣向が凝らされた。

夜長をしっとりと味わって きれい」「寒いけどずっとこ 界を前に来場者は、「すごく る人も。さまざまな光の世 の一部となって記念撮影す された石垣の前では、影絵 しにおりたいね」と、秋の 優雅に泳ぐ魚たちが投影

(森田千尋)

佐川高生が開いた「酒蔵カフェ」(佐川町甲)

苦戦しながら元気に接客

も、元気に接客した。 訪れ、生徒は慣れないカ た。朝から多くの住民が を紹介するなど地域PR

人を中心に企画。同校有 礼を言われてうれしかっきるように、と2年生4 して焦った。帰り際にお 供。テーブルにはセンリ 町内で生産されたトマト よりお客さんが多くて緊 この日は、生徒6人が 愛香さん(灯)は「思った に」キッチン担当の中田 中で人々が気軽に休憩で 牧野公園で楽しめること ョウを飾り、同町の山や やベーグルを使ったモー フェ運営に苦戦しながら フォンケーキなどを提 ニング、地元で人気のシ 学校活動の一環で、街 めて見ていた。 店を開く予定。

(森田千尋

岡郡佐川町乙)の生徒ら が19日、同町甲の観光交 「佐川まちの駅」 にも心を配った。 午前9時の開店から大

で「酒蔵カフェ」を開い

高 生

が

酒 蔵 力

工

頑張っちゅう」と目を細 命でかわいらしい」「よう 勢の客が訪れ、生徒はて ん(16)は「料理を出す順 を、訪れた人は「一生懸 んやわんや。そんな様子 うに頑張る」と話した。 る。次は笑顔を忘れんよ 張したけど、達成感があ 番がばらばらになったり 次回は2月15、 接客担当の杉中夏帆さ

進捗評価シ-評価軸⑤-3 (様式1-5)

果・影響等に関する報道 評価対象年度 令和元年度 年月日 掲載紙等 報道等タイトル 佐川の夜 ろうそくで彩る 来月16日 地元高生企画 R2年1月29日 高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況	※計画年次との対応	

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

R2年2月7日

□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

令和2年1月29日 高知新聞

佐川ともしびに照ら

でキャンドルを並べる手順

高知新聞

ろうそくで彩る 来月16日

多士 Commo.ma.m. キャンドルイベントの準備に取り組む佐川高生 田 同 M Cmmo (佐川町甲)

"春の妖精"牧野公園に

と、佐川高校(高岡郡佐川 などで発信してもらおうと 画している。会場となる同 具制交流サイト (SNS) 点から取り組む総合学習の でこのほど、リハーサルを 町甲の牧野公園入り口付近 にキャンドルイベントを計 町乙)の生徒らが2月16日 亚みを楽しんでもらおう された歴史情緒あふれる町 郷影スポットをつくり、会 が少ない冬に話題となる 環。2年生4人が、観光 生徒らは今月26日、現場 地域課題の解決に若い視 そくと電気式のキャンドル タインデーも近いし、 定。 温かいイベントにしたい。 かりを作るなど、来場者を やデザインを確認。「バレン ね」と大きなハート形の明 計約1500個を並べる予 から同8時ごろまで、ろう んでもらえたら」と話して 石者からお年寄りまで楽し (17)は「佐川は寒いけど、 楽しませる準備を進めてい フルで来てもらえたらいい イベント当日は午後5時 同校2年の佐藤響さん (森田千尋) カッ 世

『春の妖精』牧野公園に

佐川町 16日に散策会

令和2年2月7日 高知新聞

> ている。 せ、ファンらを喜ばせ ていないセツブンソウ れる花々が、高岡郡佐ル」(春の妖精)と呼ば で、夏から冬は地下茎現れるのは春の数カ月 いる。県内には自生し らしい姿を見せ始めて ように見える。地上に 白いがく片が花びらの ポウゲ科の多年草で、 もかれんな花を咲か なくなることから「ス 川町甲の牧野公園で愛 にけとなって休眠。 と 咲き、 すぐに見られ セツブンソウはキン

幡多 支社 環 N 0880·31·01-01-0151 宿毛 支局

ユキワリイチゲも咲き始めた

する町職員の戸梶友子

の草花を楽しむ。

公園内を散策して早春 同公園の整備を担当

-116

話す。

ね」とカメラのシャッ
町とさかわ 町とさかわ観光協会の種をポットに植え、

ブリング・エフェメラ | らせる姿に、訪れた人 | 始め、道沿いが彩りを | く。町内に植栽するた |境省の準絶滅危惧種に | ターを切っていた。 も指定されている。 花壇で春の兆しを知 | やフクジュソウも咲き | 園の散策をする会を開 園ではユキワリイチゲ めのさまざまな山野草

【佐川】春先にばっ

山野草の種まきや同公 は 16日午前10時から 愛らしい花を咲かせるセツブンソウ (写真はいずれも佐川町の牧野公園)

図のののの・のの・ののののののののの・のの・のの・ののののののののの・のの・のののののの 清水 支局

人。10日締め切り。申参加無料で、先着30 人。10日締め切り。 2.7740) ^. 推進課(0889・2 し込みは町チーム佐川 (森田千尋)

いの町にできたら」といいの町にできたら」といいの町にできたら」といいの山野草をみんい さん(37)は「牧野博士 画報 二 のを 6 内 玄 闊 少 北

佐川町-10

進捗評価シート (様式1-6)

評価軸⑥-1 その他(効果等)

項目

歴史まちづくりによる観光客の増加

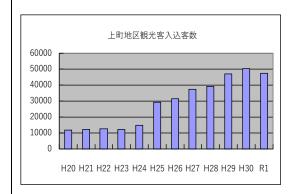
計画に記載 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和元年度の観光入込客数は、前年度より約3,000人減となっている。減少した原因は、新型コロナウイルスの影響で、2・3月の花見シーズンの観光客数が伸びなかったことが挙げられるが、本町の観光のハイシーズンは春のため、コロナ渦が無ければ前年度より増加していたと思われる。増加が見込まれた理由としては、観光体験イベント「わんさかわっしょい体験博」の開催により、小規模観光メニューが充実したことが関係している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



↓ 広報さかわ12月号 2-3ページ

佐川町の魅力を体感してもらおうと10月5日から11 月9 日の期間「わんさかわっしょい体験博」が開催された。本町とさかわ観光協会が、すでに知られた観光名所だけでなく、町民の知識や特技も地域の力として発信していこうと企画した観光体験イベントである。体験博参加者282人のうちおよそ6割が町外からで、佐川町の新たな観光メニューができた。また体験イベント20種類のうち、7種類が上町地区の建物を活用したものだった。



評価対象年度 令和元年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:佐川町歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時:令和2年3月26日10時~

(コメントの概要)

委員A:二期計画にも盛り込まれている「霧生関」の発行継続について、佐川町にとってとても大事なものであるが、資金面・後継者の問題で、発行が難しくなっている。町からの支援等を受けることはできないか。

委員B:標識の整備事業について。以前、幕末維新博のときに歴まち小旗を作り、上町周辺の軒に飾った。町内の方からは好評であったが、古くなり色があせている。この小旗も標識整備事業の中に組み込めないだろうか。

(今後の対応方針)

- ・「霧生関」の後継者問題については、NPO法人くろがねの会に相談をしながら、活動を受け継ぐ 団体がいないか検討していく。
- 歴まち旗については、令和2年9月までに検討し回答する。